

あつし塾長の

子のやる気 親の気づき

〇〇71



ゆとり教育世代の子どもたちは、「やればできる」と信じています。しかし、本気でやったら、やり抜いたという経験に乏しいまま大人に近づいていく子が少なくありません。

やればできる①

って来ました。入塾面談では、主に父親が息子の学校と家庭での日常を語り、最後に「全くやる気を見せないんです」と言い放ちました。その間、母親と息子は何を言われても表情を変えようとはありませんでした。私は、家族の生活基盤と子育ての背景を一通り伺ってから、志望校を尋ねました。本人は「まだ決まっています」と返答。母親が少し息子

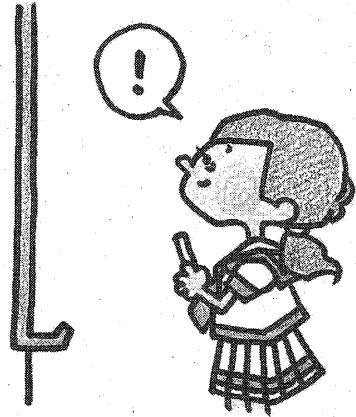
核心に向き合う経験を

の方に体を向けて「ほら」と促すと、「あ、西高か東高です」と答えました。私はこの母子のやり取りを見てから「なぜ西高か」「なぜ東高か」と入塾難易度や部活などの学校情報や担任の先生の助言からの進路情報などを整理していきまし

二歩進み二歩下がる教育

かい愛情を注いでしまっただ。楽な表情になった傾向があります。その本人に私は微笑みながら「安全、安心、便利が最優先の生活様式の中、面倒なことを避ける子どもたちは友達

との関わりも希薄です。親と学校の先生以外の大人から核心を突かれたり、正論をぶつけられたりした経験はほとんどありません。だからでしょうか、最近男子も女子も、すぐに涙をこぼします。私は「なぜ泣くの？」と真ん中に「直球」を投げ込んでみました。本人はその場の秩序を守るための「口実」を話し始めました。それを受け止めて「それを受け止めてから私は」その涙は、本当は何もやっていないからだよ」と話し掛けました。本人は大きくうなずきました。2時間が経っていました。唐突に退塾を申し出



by yoriko

ました。私は本人の顔を見ながらゆっくりと「するとどうですか？」と尋ねました。本人は「うくん、やってみます」とまた「口実」を話し始めました。子育て・教育は、二歩進んで二歩下がるものです。やる気になって、やってみて、小さな失敗と成功の単純な繰り返しに、意欲は育まれるものです。

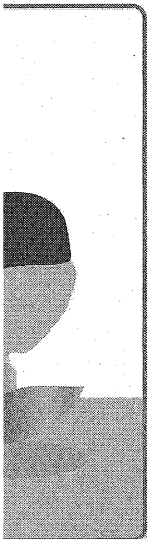
産地偽装や偽ド、架空請求、商法など、消費巻き込まれるトラ数限りなく、常の悪質商法が生きている。未成年巻き込まれるケ少なくないため治体は、児童、けのさまざまな開発し啓発に力ている。このほ者教育支援センター表彰した教材はれも力作がそろ

子どもの手本になつて

教育

子どもにとって最も簡単な運動に「転がる」があります。これは、小学校で習うマット運動の基

素



クルを繰り返していい。子どもは視覚的学習能力が非常に高い「見せる」のが重要。テレビCMの動いても、大人はなかなか覚えませんが、子どもで表現しやすくてきたら「褒めるとも大切。子どもは



お金使う教材